

## ナンバーズを当てたいなあ

「ナンバーズを当てて大金持ちになりたいので、取り敢えず買ってみました。当たる可能性が大きくてもしかしたら高配当？な感じのセットのナンバーズ3です。…で、どうなの？なにが一番いいのっ！」

「欲どしいやっちゃなあ…だいたいお金がくじで増えるんだら誰も働かないし、くじを売る側もいなくなってしまう」

「でも、当たったらお金持ちになるよ。それにナンバーズは宝くじと違って自分で番号を選べる、ということは当たる数値をあらかじめ知っていれば、それだけ買うことにより、大金持ちに…えへへ」

「あらかじめわからないから、くじとして成り立っているんだよ。だいたいおしなべてくじはその半分弱が払い戻しに当てられる。ナンバーズは45%が払い戻しになるので、200円に対する期待値は90円、当たらないよ」

「でも、だからこそ当てる方法があるに違いない、例えば引っぱり現象というものがあるの。前回出た数字が次にもでやすいんだ！」

「ま、そくいわれている誤解だね、それって。確率計算してみようか」

「げ、それってむつかしいの？」

「うまくごまかすつもりはないから素直な計算でいこう。取り敢えずナンバーズ3のほうがパターンが少ないので、こっちでやってみよう」

「ま、3の方が当てやすそうだしね」

「前の数のパターンにより次の時の引っぱりが現れるかどうかの確率が変わる。例えば111だった次よりも123だった次の方が引っぱりになりやすいそうですね？」

「うん、111だと1が次のどれかに入っていないと引っぱりじゃないのに、123だったら1か2か3だったらそだもん」

「うん、このように3つ同じ数字と2つ同じでひとつ違う数字、そして3つとも違う数字、の3パターンがある。表にすると、

	3つ同じ	2つ同じ	全部ちやう
パターン数	10	270	720
引っぱり	729	512	343
引っぱり	271	488	657
引っぱり率	0.00271	0.13176	0.47304

となる」

「パターン数ってのはわかるよ、全部で000～999までの1000中どれだけがそのパターンに当てはまるかって。でも、引っぱり、とか引っぱりってのの数字はなに？」

「これも1000中、引っぱりしない時の数と引っぱりするときの数、例えば3つ111で同じのとき引っぱりされるのはなに？」

「うーんと、3桁のうちのどれかが1のやつだから、

001, 010, 011～019, 021, 031…って、どんどんあって大変！」

「そう、その数が271個というわけ」

「むむっ、こーやって地道に数えんといかへんの？ これでも大変なんだから、ナンバーズ4だったらすごく大変」

「だから逆に引っぱり方から計算する。各桁1でないのは9通り、そして各桁は独立して数字を示すから…」

「独立？」

「逆に独立してない場合は、例えば0から9の書かれた玉が1個ずつあってそれから3つ選ぶ、という場合なら最初に1の玉が出たら後にはもう1の玉は出ない」

「なるほど」

「だから各桁9通りあるので $9 \times 9 \times 9$ で729通り。729個が1の値を引っぱりない、となる。全パターンは1000個、000～999はさっきの考え方だと $10 \times 10 \times 10$ でも勿論1000通り」

「だから1000-729で271通り」

「つまり前が3桁とも同じの時は次に引っぱり可能性は1000のうち271、確率で言うと0.271」

「でも引っぱり率は0.00271」

「うん、もともと前の数字が3つとも同じは10通り、全部で1000通りのうちのそれだから」

「あ、10割る1000の0.01」

「それをさっきの0.271にかけると0.00271」

「ふーん、同じように後も計算すると0.13176と、0.47304が出る。で、どうなの？」

「これらは元が別だから各パターンごとに確率が出たのでそれらを合わせる。つまり足す」

「うんと、0.60751」

「約60%が引っぱりすることがこれでわかった。ちなみにナンバーズ4だと80%になる」

「だから、引っぱりはまああることなので、不思議な現象じゃないってこと。なんにせよ前の数値を参考にしておけばOK？」

「違う、そーじゃなくてこれは関連がないのにそういう値が出てしまうってこと。確率の考え方の大前提として、000～999のどのパターンも出る可能性は毎回同じ $1/1000$ だ。その確率の考えに則って計算した結果で60%って言っている。だからただそういう結果があるだけで、前回の結果に引っぱりされているわけではない。毎回前回は関係ない勝手な数字が出ている」

「えー！じゃあ強い数とか弱い数ってのは？過去100回で出た回数が多い数は出やすい、とかあるじゃない」

「もし、ナンバーズの的とか弓の発射装置になんらかの仕掛けがあるなら別だけど、そんなことは公共のくじにとって有り得ない話だしあってはならないこと」

「じゃあどうすりゃいいの！」

「うん、ナンバーズは買う人の好みで数字に人気があったりなかったりとはばらつきがある。だから当たりが人気のない数字だったら配当金が高くなる。そしてどの数字が出るかはどれも皆、同じ確率だ」

「となると、人気薄のを買えばいい」

「長い目で見れば45%の期待値よりも高い率の回収を誇れるようになるな、だけどどれがその回での人気薄かがわからないからなあ」

「そりゃあ、必勝本とか攻略本で研究されて推奨された数字でないやつを狙っていけばそこそこ人気薄」

「ま、そりゃそうだ」

「後ろ向きだなあ。もっと前向きがいいなあ」

「だったら前向きに嘘の必勝法を広く人々に伝え、その逆のものを買うという方法が有効だぞ」

「あ、その嘘必勝法の本を作ってそれ売るようにすれば、まさに一石二鳥って…は、もしや!？」

おしまい

Maki Rouel fin 2001,3,28 depuis 2001,3,26